

# 反射材つけなきゃ

ダメよーダメダメ



夕暮時・夜間に出かける時は、反射材をつけましょう。  
反射材を身につけることで、交通事故から身を守ります。

# 反射材着用の効果・重要性について



～歩行者の皆さんへ～

夕暮れ時から夜間にかけては、重大事故が多く発生しています。ドライバーからよく見えるように反射材を着用することが大切です。黒や紺など暗い色の服装で歩行してる場合は大変危険です。明るい服装・反射材の着用を心掛けましょう。

## ●車からの視認距離

ライトの光に照らされると、反射材は「浮かび上がって」見えるため、いち早くドライバーに存在を知らせることができます。反射材を身につけることで、ドライバーは歩行者を約2倍手前で発見できます。



# 「ゆとり運転 “55運動”」実施中!!



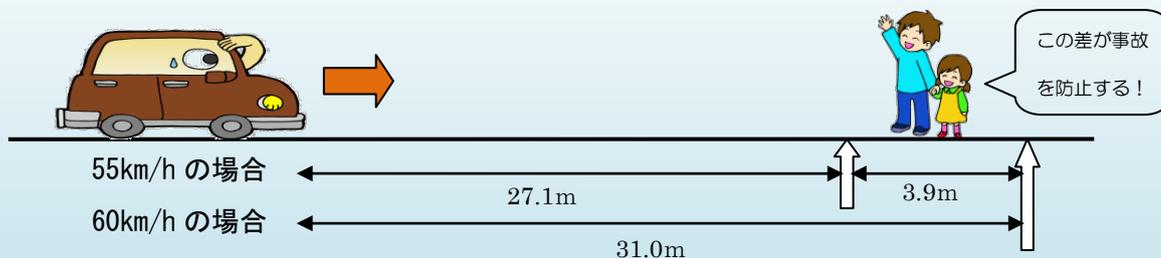
「ゆとり運転 “55運動”」とは、

いつもより（予定より）5分早く出発し、5キロ減速した走行

を実践することで、心と時間にゆとりが生まれ、また万一の場合には、制動距離の短縮にもつながることから、交通事故の発生を防ぎ、あるいは衝撃をより減少させることができることを広く県民に周知しようとするものです。

## ○ 5km/hの違い（停止距離）

同じ位置からブレーキをかけた場合の停止距離は、55km/hでは27.1m、60km/hでは31.0mで、その差は3.9m（軽四1台分）もあります。



## ライトの点灯はお早めに

夕暮れときは早めにライトを点灯しましょう。

また、ライトのハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）のこまめな切り替えを行い、横断歩行者などの発見遅れを防止しましょう。



## セーフティリーダー（地域交通安全活動推進委員）とは、

地域における道路交通に関するモラルを向上や交通安全の確保のため、各種交通安全活動などでリーダーとして活躍しています。